

OLYMPUS[®]

インストールマニュアル

OLYMPUS Stream [Ver.1.8]

画像解析ソフトウェア

本書におけるすべての商標は、Olympus Soft Imaging Solutions GmbH に属します。
Olympus Soft Imaging Solutions GmbH では、本書の情報の正確性および信頼性について万全を期すよう努めていますが、本書に関するいかなる事項についても、明示的または黙示的を問わず、一切保証するものではありません。
本書のいかなる部分も、事前に Olympus Soft Imaging Solutions GmbH の書面による許可を得ることなく、いかなる目的であれ電子的または機械的を問わず、いかなる形態またはいかなる方法によっても、無断で複製、転送してはなりません。

Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

© Olympus Soft Imaging Solutions GmbH
All rights reserved

Version 510_UMA_Installation-OlyStream18_jp_Indus_03

目次

1	OLYMPUS Stream のマニュアル.....	4
2	システム要件.....	5
3	はじめに.....	6
4	ソフトウェアとカメラドライバのインストール.....	7
4-1	ソフトウェアのインストール.....	7
4-2	ソフトウェアのアクティベーション.....	11
4-3	カメラの接続とカメラドライバの選択.....	20
5	本ソフトウェアの開始と設定.....	21
5-1	ソフトウェアの開始.....	21
5-2	ソフトウェアの設定.....	21
5-3	最初の画像の取り込み.....	23
6	ソフトウェアのディアクティベーション.....	25
7	ソフトウェアのアンインストール.....	28

1 OLYMPUS Stream のマニュアル

OLYMPUS Stream ソフトウェアのマニュアルは、クイックセットアップガイド、本書（インストールマニュアル）、オンラインヘルプ、ユーザーマニュアル、データベースマニュアルから構成されています。

クイックセットアップガイドは、本ソフトウェアに同梱されています。ここには、ソフトウェアアクティベーションやシステム要件に関する重要な情報が記載されています。

本インストールマニュアルには、OLYMPUS Stream のインストールおよび設定方法が記載されています。ここには、ソフトウェアアクティベーションやシステム要件に関する追加情報も記載されています。

ユーザーマニュアルには、製品に関する導入とユーザーインターフェイスの説明が記載されています。操作手順の詳しい説明が記載されているため、本ソフトウェアの重要な操作手順をすぐに学ぶことができます。本ソフトウェアのインストールフォルダに PDF 形式のマニュアルがあります。

オンラインヘルプでは、本ソフトウェアのすべての要素に関する詳細なヘルプが提供されています。コマンド、ツールバー、ツールウィンドウ、およびダイアログボックスごとにヘルプトピックがあります。ヘルプを表示するには、ショートカットキー [Shift + F1] を押します。または、ダイアログボックスが表示されている場合、ダイアログボックスの右上にある疑問符をクリックすると、そのヘルプページが表示されます。

本ソフトウェアを初めて使用するユーザーは、ユーザーマニュアルで製品の概要を理解し、より詳細な質問についてはその後オンラインヘルプを参照することをお勧めします。

データベースマニュアルは、OLYMPUS Stream データベースのユーザーおよび管理者が参照するマニュアルです。データベースの動作と、データベースの設定および管理方法についての説明が記載されています。本ソフトウェアのインストールフォルダに PDF 形式のマニュアルがあります。現在、データベースマニュアルは、英語、ドイツ語、フランス語版が提供されています。上記の言語以外の OLYMPUS Stream 製品をインストールした場合は、英語の PDF ファイルがインストールされます。

2 システム要件

OLYMPUS Stream を実行するには、以下のシステムが必要です。

CPU	Intel® Core™ i5、i7 (推奨) Intel® Core™ 2Duo (最小)
オペレーティングシステム	推奨： Microsoft® Windows® 7 Ultimate/Professional (64 ビット) 最小： Microsoft® Windows® 7 Ultimate/Professional (32 ビット) または Microsoft® Windows® XP Professional (32 ビット) SP3 または Microsoft® Windows® Vista Ultimate (32 ビット) SP1
RAM	8 GB (推奨) 3 GB (最小)
3D グラフィックスアクセラレータ	2048 MB RAM (推奨) 512 MB RAM (最小)
モニタ解像度	1280x1024、32 ビットグラフィックカード
ハードディスクの空き容量	本ソフトウェアをインストールするには、ハードディスクに 2.4 GB の空き容量が必要です。 OLYMPUS Stream をインストールした PC に、Stream で作成したデータも保存する場合は、相応の容量 (少なくとも 50 GB) を備えたハードディスクが必要になります。
ポート	DVD ドライブ カメラ用 USB2-ICH7 ポートまたは FireWire (IEEE1394) ポート 電動顕微鏡、ステージ、対物レンズエンコーダ、ズームエンコーダ用 COM インターフェイス (RS232)
レポート作成用ソフトウェア	OLYMPUS Stream でレポート操作を行なう場合、レポートの表示および編集用に MS Word と MS Excel が必要です。このため、Microsoft Office 2010、2007 または 2003 が必要となります。 OLYMPUS Stream をインストールする前に、Microsoft Office をインストールしてください。 OLYMPUS Stream Start ソフトウェアパッケージの場合は、レポート生成機能が搭載されていないため、Microsoft Office は不要です。
Web ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 8.0 以降
データベース管理システム	Microsoft SQL Server 2008 Express または Microsoft SQL Server 2005 Express (OLYMPUS Stream 設定の一部)

3 はじめに

- 1) 本ソフトウェアをインストールするには、有効なライセンスキーが必要です。ライセンスキーを含む証明書は紛失しないようにしてください。
- 2) インストールに使用するユーザーアカウントが「コンピュータの管理者」として登録されていないと、本ソフトウェアをインストールすることはできません。ユーザーアカウントが「制限付きアカウント」で登録されている場合は、「コンピュータの管理者」に変更してください。
(ユーザーアカウントの登録については、お使いのコンピュータの説明書を参照してください。)
- 3) Windows Vista オペレーティングシステムを使用している場合、OLYMPUS Stream の起動時に PC が休止状態になるとエラーが発生することがあります。お使いの PC で、休止状態を無効にしておいてください。
- 4) 画像データが予期せぬ損傷を被る場合があります。データは定期的にバックアップしてください。
- 5) ライブ画像を表示中にカメラケーブルを抜くと、ライブ画像が停止します。カメラケーブルを再度差し込んでも、画像は停止したままとなります。この場合、OLYMPUS Stream を再起動し、再度ライブ画像を開始します。
- 6) OLYMPUS Stream を同時に複数起動することはできません。
- 7) タイムラプス画像の取り込み時には、PC でウィルススキャンを実行しないでください。ウィルススキャンにより PC のパフォーマンスが悪化して、画像を適切に取り込めない可能性があります。
- 8) 本ソフトウェアをインストールする前に、制御対象の各デバイスのインストールマニュアルを読んでください。また、顕微鏡など接続したデバイスの操作方法に関する情報については、該当するデバイスのマニュアルを参照してください。

4 ソフトウェアとカメラドライバのインストール



PC にカメラを接続する前に、OLYMPUS Stream をインストールしてください。



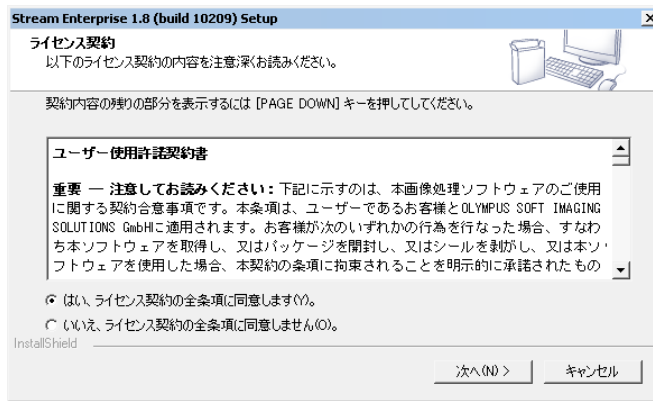
ソフトウェアをインストールする際は、管理者として PC にログオンしてください。

このセクションでは、Windows Vista でのインストール手順について説明しています。Windows 7 や XP を使用している場合でも、手順はほとんど変わりません。

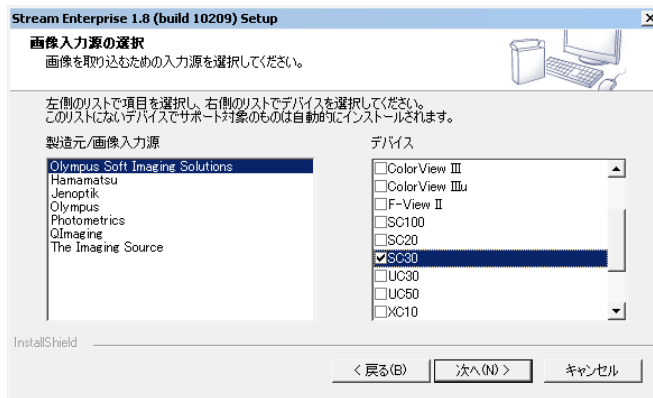
4-1 ソフトウェアのインストール

インストール時には、以下を準備します。

- DVD-ROM
 - メインのライセンスキーを含む証明書
 - 追加のソフトウェアソリューション用のライセンスキーを含む証明書（ソフトウェアソリューションの購入者のみ）
 - USB メモリ等の記録媒体（OLYMPUS Stream をインストールする PC がインターネットに接続できない場合のみ）
- 1) 実行中のアプリケーションがある場合は、すべて閉じます。
 - 2) DVD ドライブに、提供された DVD を挿入します。
 - ▶ インストールプログラムは自動的に開始します。PC の自動実行機能が無効である場合は、setup.exe ファイルをダブルクリックします。
 - 3) [InstallShield ウィザード] ダイアログボックスが表示されたら、[インストール] ボタンをクリックします。
 - 4) ソフトウェアのアクティベーションを実行します。有効化については、11 ページの「ソフトウェアのアクティベーション」章に記載されています。
 - ▶ インストールウィザードにより、ソフトウェアのインストールが実行されます。インストールウィザードの指示に従い、必要な情報を入力し、[次へ >] ボタンをクリックして処理を続けます。以下に、インストールウィザードのいくつかのダイアログボックスを示します。

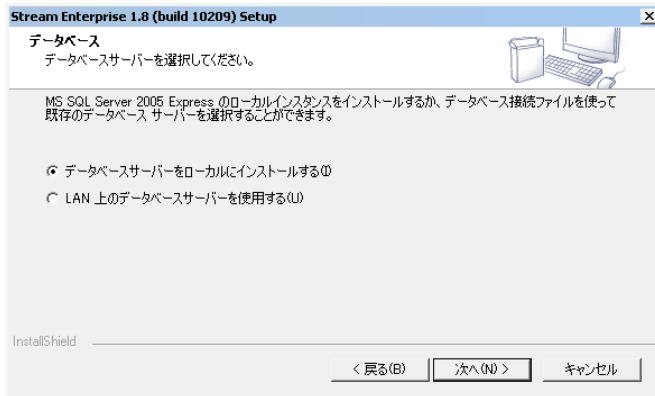


- 5) ライセンス契約を熟読します。同意する場合は、[はい ...] オプションを選択し、[次へ >] ボタンをクリックします。



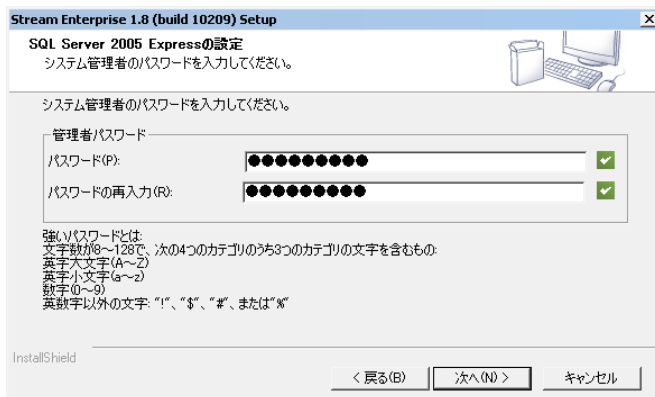
- 6) [画像入力源の選択] ダイアログボックスが表示されるまで、指示に従って処理を進めます。このダイアログボックスには、本ソフトウェアパッケージでサポートされているすべてのカメラのリストが表示されます。左側の製造元を選択し、右側のリストから OLYMPUS Stream で使用するカメラの横にあるチェックボックスを選択します。複数のカメラを選択できます。

- ▶ DP21 または DP26 カメラを選択した場合、デフォルトの IEEE1394 デバイスドライバがオリンパス固有の IEEE1394 デバイスドライバに置き換えられます。このため、このコンピュータで、標準の IEEE1394 デバイスドライバを必要とする別のデバイスを使用するには、IEEE1394 ボードをもう 1 枚設置する必要があります。

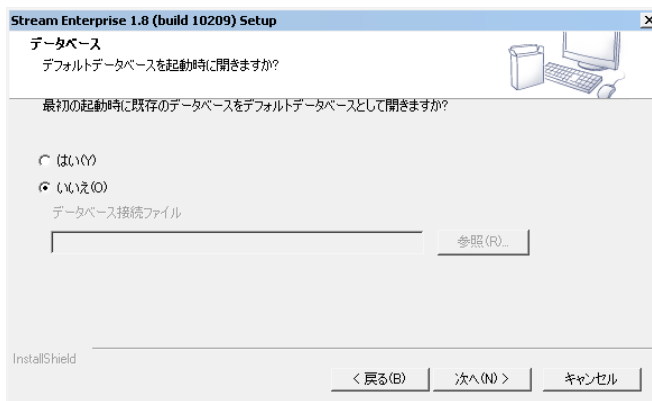
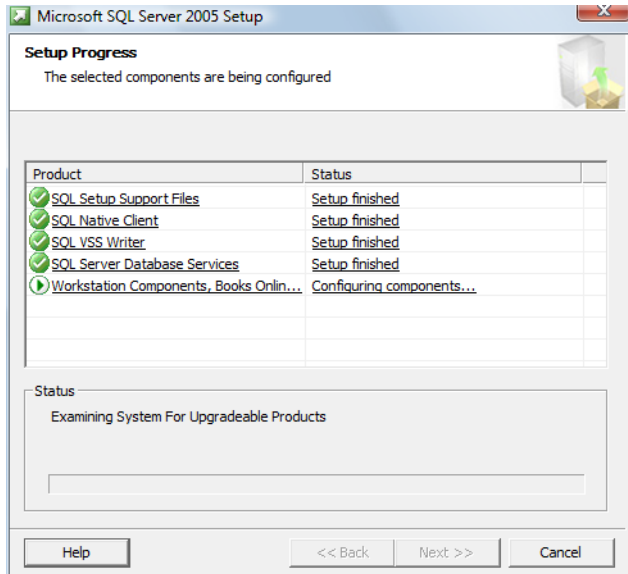


7) [次へ >] ボタンをクリックし、インストールウィザードの指示に従います。[データベース] ダイアログボックスが表示されます。ご自身のデータベース管理システムをインストールするかどうかをここで決定します（以下を参照）。

- PC にデータベース管理システムをインストールしない場合は、[LAN 上のデータベースサーバーを使用する] オプションを選択します。ネットワーク内で別の PC がデータベースサーバーとして定義され、すべてのデータベースが設定されている場合に、このオプションは役立ちます。また、データベース管理システムが既に PC にインストールされている場合にも使用できます。
- PC にデータベース管理システムをインストールする場合は、[データベースサーバーをローカルにインストールする] オプションを選択します。これにより、後で PC でローカルにデータベースを設定できるようになります。

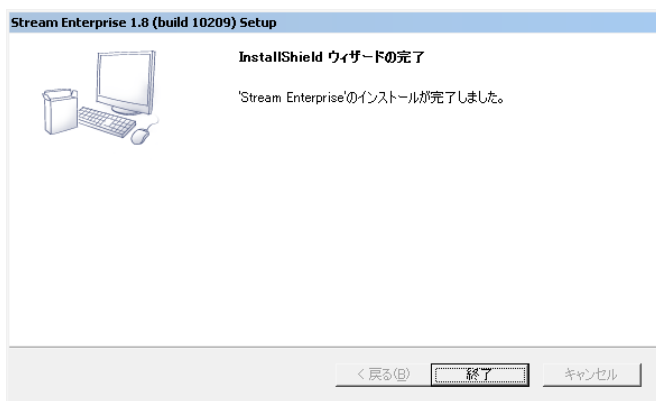


▶ [データベースサーバーをローカルにインストールする] オプションを選択した場合、データベース管理システムの設定処理が現在のインストール手順に追加されます。このため、インストール時間が長くなります。インストールウィザードで表示されるダイアログボックスが2つ増えます。[Configure SQL Server 2005 Express] と [Setup Process] です。システム管理者のパスワードを8文字以上で設定します。テキストに加え、1文字以上の数字と1文字以上の特殊文字（または大文字か小文字の文字）が必要です。パスワードは忘れずにメモしてください。



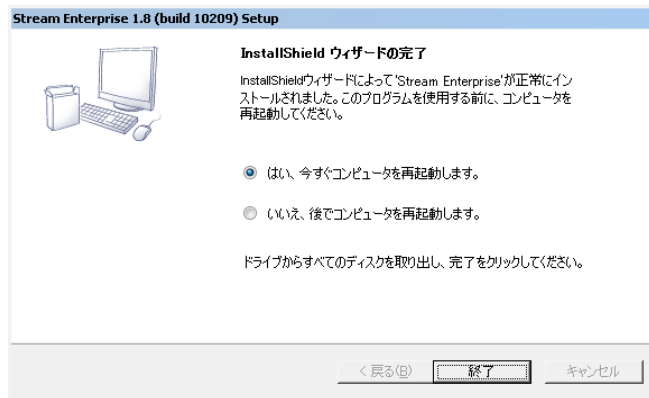
8) [データベース] ダイアログボックスがもう 1 つ表示されます。標準のデータベースを定義するかどうかをここで決定します。

- ▶ ここで選択したデータベースが、今後 OLYMPUS Stream を開始した際に自動的に開きます。



9) [次へ >] ボタンをクリックし、インストールウィザードの指示に従います。

- ▶ データベースサーバーをインストールしていない場合は、インストールの最後にこのダイアログボックスが表示されます。



- ▶ 「Microsoft SQL Server 2005 Express」データベース管理システムをインストールした場合、PCを再起動する必要があります。このためダイアログボックスの表示が異なります。

10) [完了] ボタンをクリックします。

- ▶ ソフトウェアのインストールはこれで終了です。OLYMPUS Streamを開始する前に、カメラをPCに接続します(20ページの「カメラの接続とカメラドライバの選択」を参照)。

4-2 ソフトウェアのアクティベーション

ソフトウェアアクティベーションの目的

これからインストールする、または既にインストールしたソフトウェアを今後ずっと使用できるようにソフトウェアのロックを解除する処理を、ソフトウェアアクティベーションと言います。以前はソフトウェアの不正使用を防ぐためにハードウェア dongle を使用していましたが、現在は電子的にライセンスのアクティベーションを実行できるようになりました。

通常、ライセンスのアクティベーションはソフトウェアのインストール開始時に実行されます。しかしインストール後 30 日以内であれば、後から本ソフトウェアをアクティベートすることもできます。ソフトウェアのアクティベーションが完了すると、Olympus のセントラルアクティベーションサーバーに登録されたソフトウェアライセンスを入手できます。

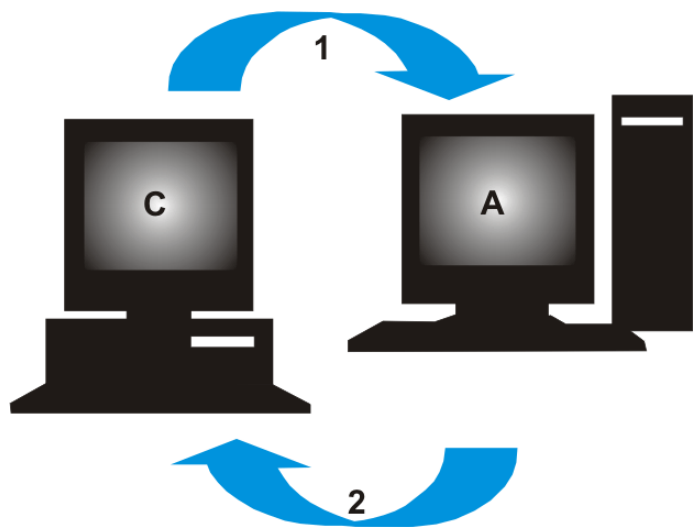
4-2-1 アクティベーションの方法

アクティベーションの実施方法はインターネット接続の有無と、使用する PC によって異なります。アクティベーションの方法は 3 種類あります。

- 1) インターネットベースでのアクティベーション
 - ▶ ソフトウェアを実行する PC をインターネットに接続している場合、アクティベーションはインターネット経由で自動的に行われます。もっとも早く手軽なため、ほとんどの場合この方法がとられます。
- 2) ファイルベースでのアクティベーション
 - ▶ ソフトウェアを実行する PC をインターネットに接続していない場合、アクティベーションはインターネットに接続している別の PC を介して行われます。
- 3) コードベースでのアクティベーション
 - ▶ アクティベーションは、文字コードの転送と入力により実行することもできます。スマートフォンなどの携帯機器の使用、またはアクティベーションホットラインへ電話することで実行できます。入力するコードが非常に長いので、この方法はインターネットに接続している PC がどうしても見つからない場合のみ使用してください。

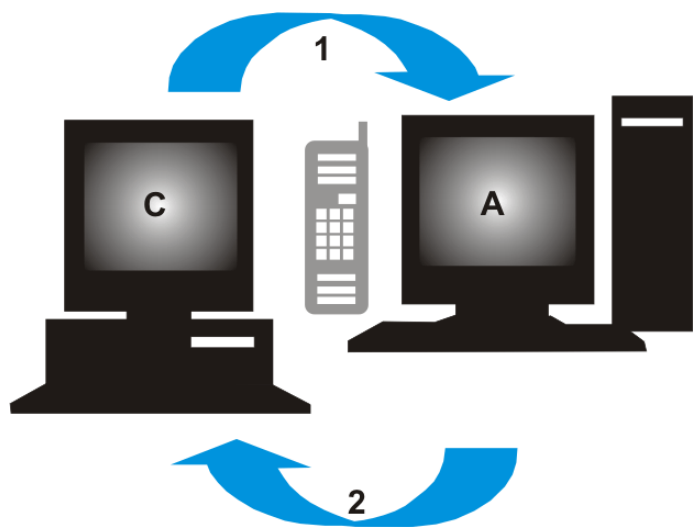
いずれの方法でアクティベーションを行っても、クライアント PC とアクティベーションサーバー間で交換されるデータは基本的に同じです。データには個人情報は一切含まれません。

ソフトウェアアクティベーションの際に交換されるデータ



C = クライアント PC、A = Olympus アクティベーションサーバー、1 = 要求ファイル、
2 = プロセスファイル

最初のアクティベーション方法では、要求ファイル（RAF ファイル）が、自動的にインターネット経由で Olympus のセントラルサーバーに送られます。ライセンスが識別可能でアクティベートできるものであれば、サーバーは自動的にプロセスファイル（PAF ファイル）を送り返します。



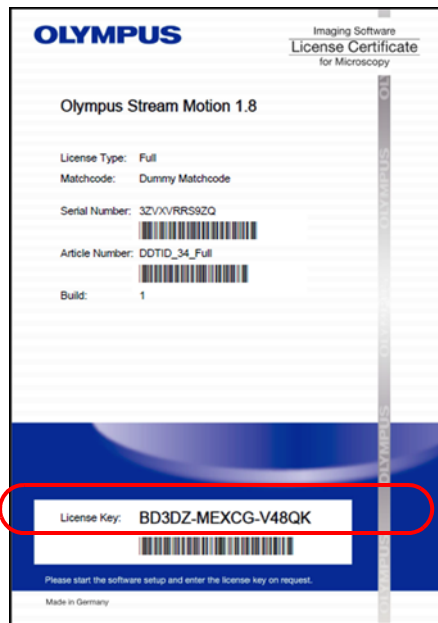
C = クライアント PC、A = Olympus アクティベーションホットライン、1 = コード A、2 = コード B
ファイルベースでのアクティベーション方法でも要求ファイルが転送されます。しかしこの方法では、ファイルはアクティベーションサーバーへの手動アップロードおよびダウンロードにより転送されます。

コードベースでのアクティベーション方法では、アクティベーションホットラインへの電話などを利用し、文字コードを交換します。

ライセンスキーの重要性

どの OLYMPUS Stream ソフトウェアのインストールでもライセンスキーの入力が必要です。有効なライセンスキーがなければ、たとえテスト用やデモ用だとしてもソフトウェアをインストールできません。

ライセンスキーは本ソフトウェアに同梱されたライセンス証明書に記載されています。



ライセンス証明書のイラスト。ソフトウェアのインストールに必要なライセンスキーは楕円で囲まれています。

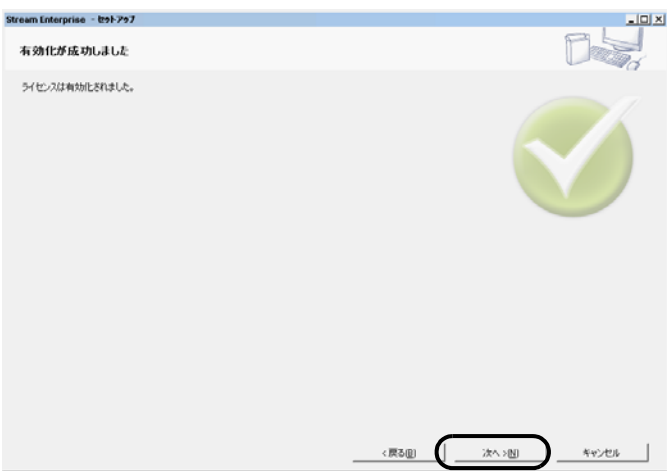
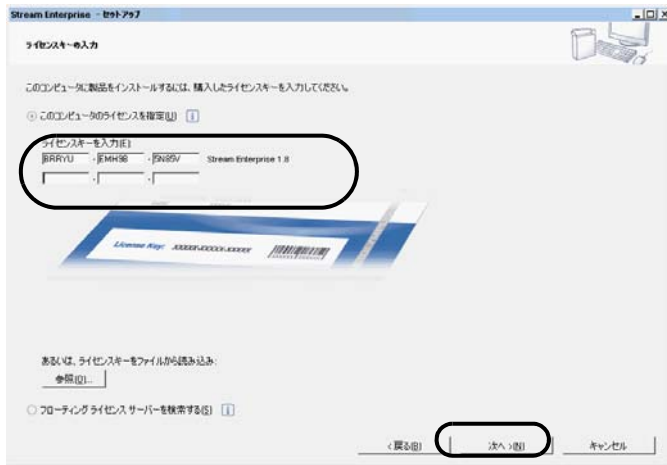
アクティベーションを実行すると、アクティベーションサーバーがライセンスの有効性を確認します。ライセンスが有効であった場合、アクティベーションサーバーはプロセスファイルを送り返します。インターネットに接続した PC であれば、この処理は自動的に行われ、通常数秒で完了します。1 つのソフトウェアには、対応するライセンスキーが 1 つだけ設定されています。Solutions という専用の拡張ソフトウェアを併せて購入した場合、各 Solution 用に別途ライセンス証明書およびライセンスキーが与えられます。インストールの際には、これらのライセンスキーも入力する必要があります。

いつソフトウェアアクティベーションを行うか

ソフトウェアはインストールしただけでは自動的にアクティベートされません。インストールの際にアクティベートしなかった場合は、インストール後 30 日以内に行う必要があります。アクティベーションを行わなかった場合、その期間を過ぎるとソフトウェアを使用することができなくなります。この期間中は、アクティベーションを促すメッセージがアクティベーションを完了するまで毎日表示されます。

[ヘルプ] > [ライセンスの有効化] コマンドを実行して、本ソフトウェアのライセンスのアクティベーションを実行することができます。このコマンドは、ライセンスのアクティベーションを実行していない場合にのみ使用できます。

4-2-2 インターネットベースでのソフトウェアアクティベーション

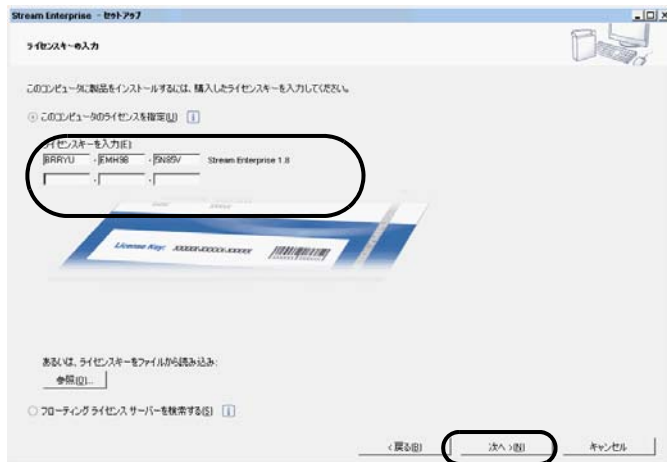


- 1) 左側の [ライセンスキーの入力] 画面が表示されたら、ライセンス証明書に記載されたライセンスキーを入力します。
 - ▶ ライセンスキーが複数ある場合 (Solutions 用など) はすべて入力してください。
- 2) [次へ>] ボタンをクリックします。
- 3) 表示された [ライセンスの有効化] ダイアログボックスで、あらかじめ設定された [今すぐ有効化 (推奨)] を変更せず、[次へ] をクリックします。
- 4) [有効化サーバーへの接続] ダイアログボックスで [サーバーへの接続] ボタンをクリックします。
 - ▶ PC がアクティベーションサーバーに接続し、データの交換が行われます。この処理はバックグラウンドで行われます。この処理には数秒かかります。この処理は中断しないようにしてください。
 - ▶ ソフトウェアのアクティベーションが完了すると、左側のダイアログボックスが表示されます。
- 5) ソフトウェアのインストールを続けるには [次へ] ボタンをクリックします。

4-2-3 ファイルベースでのソフトウェアアクティベーション

OLYMPUS Stream を実行する PC をインターネットに接続できない場合、アクティベーションはインターネットに接続されたほかの PC を介して行われます。

そのためには 1 台目の PC にソフトウェアをインストールし、2 台目の PC（インターネット接続あり）を使って Olympus のセントラルアクティベーションサーバーとデータ交換をします。ライセンス証明書をお手元にご用意ください。



1) 左側の [ライセンスキーの入力] 画面が表示されたら、ライセンス証明書に記載されたライセンスキーを入力します。

▶ ライセンスキーが複数ある場合 (Solutions 用など) はすべて入力してください。

2) [次へ >] ボタンをクリックします。

3) 表示された [ライセンスの有効化] ダイアログログボックスで、あらかじめ設定された [今すぐ有効化 (推奨)] を変更せず、[次へ] をクリックします。

4) [有効化サーバーへの接続] ダイアログボックスで [サーバーへの接続] ボタンをクリックします。

▶ PC は次にアクティベーションサーバーへの接続を試みます。接続に失敗するため、左側のダイアログボックスが表示されます。

5) [要求ファイルの保存] ボタンをクリックします。要求ファイルを、インターネット接続されている 2 台目の PC からアクセスできるように保存します (ネットワークドライブ上や、USB メモリスティックなど)。

▶ 要求ファイルには RAF (request activation file) という拡張子が付いています。

6) 2 台目の PC に移り、インターネットブラウザを起動し、下記アドレスを入力します。

<http://www.olympus-sis.com/file-activation/>

▶ 次のサイトが表示されます。





7) 必要に応じて、サイトの言語を変更できます。

8) [参照 ...] ボタンをクリックして、要求ファイルを選択します。[アップロード >] ボタンをクリックします。

▶ サイトが更新されます。この処理には数秒かかります。

9) [プロセスファイルのダウンロード ..] ボタンをクリックします。ダウンロードしたファイルを、OLYMPUS Stream をインストールした PC からアクセスできるように保存します（ネットワークドライブ上や、USB メモリスティックなど）。

▶ ダウンロードしたファイルには PAF (processed activation file) という拡張子が付いています。

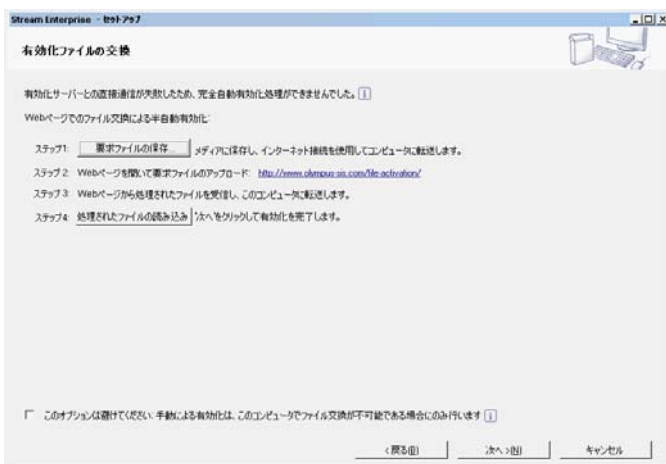
▶ プロセスファイルのダウンロード完了後、ユーザー登録を行うことができます。ユーザー登録を行うと、今後電子メールで製品情報を受け取ることができます。[ユーザー登録] ボタンをクリックするとユーザー登録ページへ移動しますので、必要事項を記入してください。

10) インターネットブラウザを閉じます。

11) OLYMPUS Stream をインストールした PC に移ります。

12) 表示されている [有効化ファイルの交換] ダイアログボックス上で、[処理されたファイルの読み込み] ボタンをクリックします。ダウンロードしたファイルが保存されているフォルダを参照します。

▶ ダウンロードしたファイルのロードが完了すると、[次へ] ボタンを選ぶようになります。





- ▶ ソフトウェアのアクティベーションが完了すると、左側のダイアログボックスが表示されます。

13) ソフトウェアのインストールを続けるには [次へ] ボタンをクリックします。

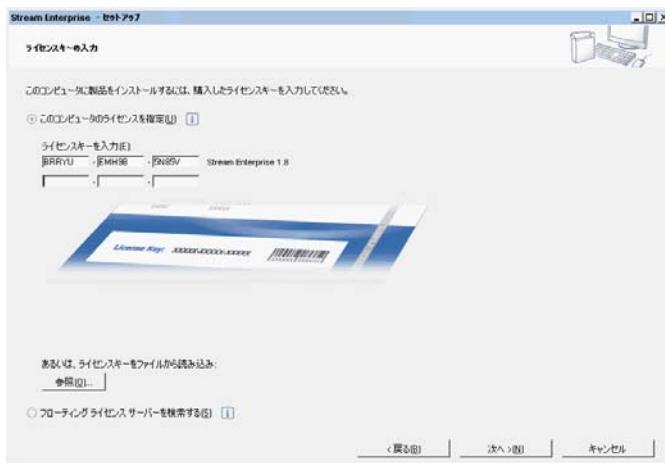
4-2-4 コードベースでのソフトウェアアクティベーション

ソフトウェアをインストールした PC にインターネット接続がなく、インターネット接続されている PC が他にもない場合は、文字コードの転送と入力によるアクティベーションが可能です。

スマートフォンなどの携帯機器の使用、またはアクティベーションホットラインへ電話することで可能です。

入力するコードが非常に長いので、この方法はインターネットに接続している PC が近くでどうしても見つからない場合のみ使用してください。

電話を使ってソフトウェアをアクティベートする場合、ソフトウェアをアクティベートする PC のそばで電話を使用するようにしてください。カスタマーサポートセンターの担当者にコード A を読み上げ、その後新たに生成されるコード B を PC に直接入力することができます。



1) 左側の [ライセンスキーの入力] 画面が表示されたら、ライセンス証明書に記載されたライセンスキーを入力します。

- ▶ ライセンスキーが複数ある場合 (Solutions 用など) はすべて入力してください。

2) [次へ] ボタンをクリックします。

3) 表示された [ライセンスの有効化] ダイアログボックスで、あらかじめ設定された [今すぐ有効化 (推奨)] を変更せず、[次へ] をクリックします。



4) [有効化サーバーへの接続] ダイアログボックスで [サーバーへの接続] ボタンをクリックします。

▶ PC は次にアクティベーションサーバーへの接続を試みます。接続に失敗するため、左側のダイアログボックスが表示されます。

5) [このオプションは避けてください: 手動による有効化は、このコンピュータでファイル交換が不可能である場合にのみ行います] チェックボックスを選択します。

6) [次へ >] ボタンをクリックします。

▶ 次のダイアログボックスが表示されます。



7) アクティベーションホットラインへは営業時間内にご連絡ください。ご利用の地域から通話可能な電話番号がダイアログボックスに表示されます。

▶ 通話料はお客様負担となります。

8) カスタマーサポートセンターの担当者に、電話を使ってソフトウェアライセンスをアクティベートすることを伝えます。

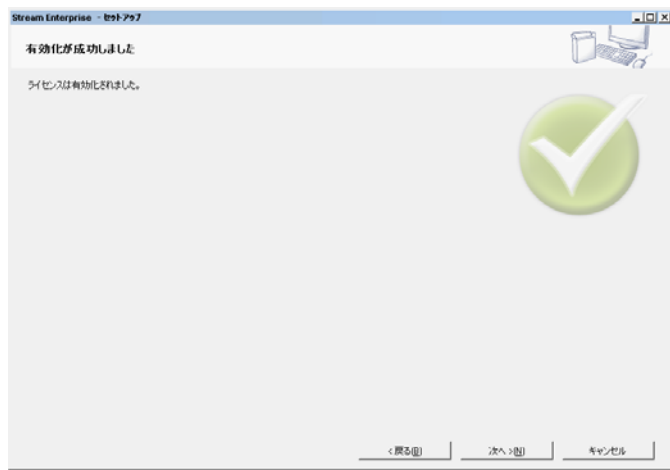
9) コード A を読み上げます。

▶ または、スマートフォンなどの携帯機器を使用して次のサイトを開きます。

(<http://www.olympus-sis.com/code-activation/>)。このサイトでコード A を入力後、[送信] を選択します。



- 10) コード B を入手後 [ライセンスの手動有効化] ダイアログボックスで [コード B] ボタンをクリックします。
▶ [コードBの入力] ダイアログボックスが表示されます。
- 11) コード B を入力後、[OK] ボタンをクリックします。
- 12) ライセンスが複数ある場合は、全てのライセンスに対してコード B を入力するまで、手順 9) ~ 11) を繰り返します。
- 13) [ライセンスの手動有効化] ダイアログボックスで [次へ] ボタンをクリックします。



- 14) ソフトウェアのアクティベーションが完了すると、左側のダイアログボックスが表示されます。ソフトウェアのインストールを続けるには [次へ] ボタンをクリックします。

4-3 カメラの接続とカメラドライバの選択

- 1) カメラを PC に接続します。FireWire カメラの場合、FireWire ケーブルの一端を顕微鏡に接続されたカメラのジャックに差し込みます。もう一方の端は、PC またはノートパソコンの FireWire ボードのポートに差し込みます。
 - ▶ これで、カメラがコンピュータに接続されました。本ソフトウェアと一緒にインストールされたカメラドライバが使用されます。
 - ▶ カメラの接続の詳細については、お使いのカメラのマニュアルを参照してください。

カメラドライバを改めてインストールする



カメラを PC に接続した際に [新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログボックスが表示された場合、必要なカメラドライバが見つからなかったことを意味します。ここで、ドライバをインストールすることができます。以下の手順を実行してください。

- 1) [ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?] が表示されたら、[いいえ、今回は接続しません] を選択し、[次へ >] ボタンをクリックします。
- 2) 次のダイアログボックスで [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] を選択し、[次へ >] ボタンをクリックします。
- 3) 次のダイアログボックスで、[検索しないで、インストールするドライバを選択する] を選択し、[次へ >] ボタンをクリックします。
 - ▶ 次のダイアログボックスに適切なカメラドライバが表示されます。
- 4) カメラドライバを選択し、[次へ >] ボタンをクリックします。
 - ▶ MS Windows の警告メッセージが表示される場合があります。このダイアログボックスに表示される情報は、インストールに重要ではありません。[続行] ボタンをクリックします。
- 5) [新しいハードウェアが見つかりました] ウィザードの指示に従います。
- 6) 最後のダイアログボックスで [完了] ボタンをクリックします。
 - ▶ 正しいカメラドライバが正常にインストールされました。

5 本ソフトウェアの開始と設定


5-1 ソフトウェアの開始

- 1) ソフトウェアを開始するには、MS Windows デスクトップ上のこのアイコンをダブルクリックします。



- 2) OLYMPUS Stream の初回起動時には、本ソフトウェアの設定およびキャリブレーションが必要です。
▶ これについて詳しくは、次のセクションで説明します。

5-2 ソフトウェアの設定

 システムを設定するには、本ソフトウェアに管理者またはパワーユーザー権限でログオンする必要があります。OLYMPUS Stream をインストールしたユーザーには、自動的に管理者権限が割り当てられています。

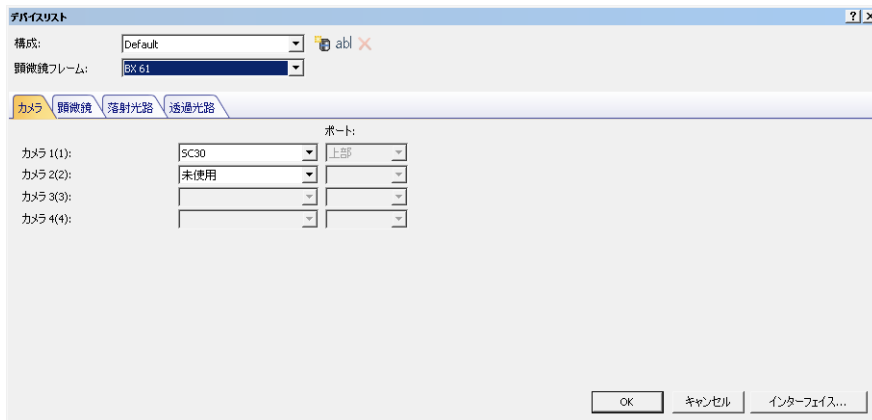
ソフトウェアのインストール後に、システムを設定する必要があります。OLYMPUS Stream では、顕微鏡の電動部などの部品を正しく制御するために、この情報が必要となります。

電動顕微鏡、対物レンズエンコーダとズームエンコーダの設定における前提条件

- 顕微鏡が、OLYMPUS Stream を実行している PC に接続している。GX または BX 顕微鏡の場合、RS232 ケーブルを使って UCB コントロールボックスと PC を接続している。
- 顕微鏡のコントロールボックスの電源が入っている。
- 顕微鏡（またはその他の電動部）と OLYMPUS Stream を実行しているコンピュータ間のインターフェイスが正常に設定されている。
- 対物レンズエンコーダまたはズームエンコーダが対応する制御ユニットに接続されている。制御ユニットが、RS232 ケーブルで PC に接続されており、電源が入っている。

使用するハードウェアの指定

本ソフトウェアの初回起動時には、[デバイスリスト] ダイアログボックスが自動的に表示されます。このダイアログボックスを閉じた場合、[取り込み] > [デバイスリスト] コマンドで再度表示することができます。このダイアログボックスで、使用するハードウェアを選択します。



- このダイアログボックスに表示される内容は、本ソフトウェアのインストール時に選択したハードウェア部品によって異なります。このため、[デバイスリスト] ダイアログボックスの表示が上の画面と異なる可能性があります。
- このダイアログボックスの詳細についてはオンラインヘルプを参照してください。

指定したハードウェアの設定

必要な項目をすべて選択し確認後に [OK] をクリックすると、[デバイスの設定] ダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスで、使用するハードウェアについてより詳細な設定を行ないます。まず、使用する対物レンズと、その対物レンズのレボルバ上の位置を指定します。

本ソフトウェアで画像を取り込む際、ここで指定した対物レンズのみを選択することができます。また、電動の対物レンズの場合は、ここで指定したもののみ制御できます。

本ソフトウェアでは、画像のキャリブレーションを正しく行なうために、画像の取り込み時に使用される対物レンズの情報が必要です。

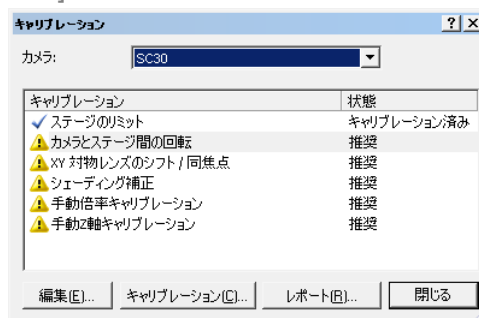


- このダイアログボックスの詳細についてはオンラインヘルプを参照してください。

システムのキャリブレーション

本ソフトウェアでは、キャリブレーションウィザードを使用して複数のキャリブレーションプロセスを実行します。システムを最適に使用するには、すべてのキャリブレーションプロセスを実行する必要があります。

[デバイスの設定] ダイアログボックスの [キャリブレーション ...] ボタンをクリックして、キャリブレーションウィザードを開始します。システムのキャリブレーションを後で行なう場合は、[取り込み]>[キャリブレーション ...] コマンドを使用します。

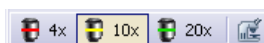


- ▶ 利用可能なキャリブレーションプロセスは、本ソフトウェアのインストール時に選択したハードウェア部品によって異なります。このため、[キャリブレーション] ダイアログボックスの表示が上の画面と異なる可能性があります。

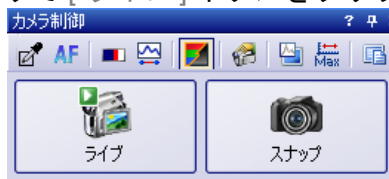
5-3 最初の画像の取り込み

ソフトウェアの設定とキャリブレーションを終えたら、画像を取り込むことができます。以下の手順を実行します。

- 1) [取り込み] レイアウトに切り替えます。それには [ビュー]>[レイアウト]>[取り込み] コマンドを使用します。
- 2) または、[顕微鏡制御] ツールバーで、画像の取り込みに使用する対物レンズのボタンをクリックします。画像を適切にキャリブレーションするには、使用する対物レンズの情報が必要です。



- ▶ 電動の顕微鏡をご使用の場合は、選択した対物レンズが自動的に光路に入ります。
- 3) 手動の顕微鏡をご使用の場合は、手動でレボルバを回転させて対物レンズを光路に入れます。
 - ▶ 注：手動の顕微鏡をご使用の場合、画像を取り込むたびに [画像キャリブレーション] ダイアログボックスを表示することをお勧めします。この機能を有効にするには、[取り込み設定] ダイアログボックスで [取り込みの後、倍率を確認する] チェックボックスをオンにします。
- [画像キャリブレーション] ダイアログボックスで、使用する対物レンズの倍率を確認したり変更したりすることができます。これにより、画像を正しくキャリブレーションできます。この機能の詳細についてはオンラインヘルプを参照してください。
- 4) [カメラ制御] ツールウィンドウで [ライブ] ボタンをクリックします。

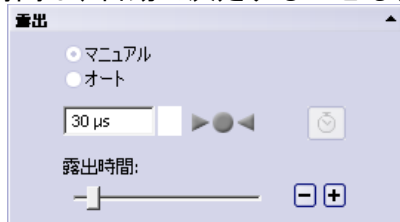


- ▶ ライブ画像が表示されます。

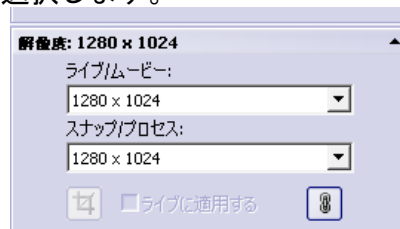
- 5) 観察したい標本位置がライブ画像に表示されるように顕微鏡を操作します。それには、手動または [ステージナビゲータ] ツールウィンドウを使用して、ステージを移動します。
- 6) 手動または [顕微鏡制御] ツールウィンドウを使用して、標本に焦点を合わせます。
- 7) 色再現の状態をチェックします。必要に応じて、ホワイトバランスを実行します。それには、[ROI のホワイトバランス] ボタンをクリックします。
このボタンは、[カメラ制御] ツールウィンドウのツールバーにあります。



- 8) 露出時間を確認します。露出時間は、自動で決定することも、手動で入力することもできます。



- 9) [解像度] グループで解像度を選択します。



- 10) [カメラ制御] ツールウィンドウで [スナップ] ボタンをクリックします。
 - ▶ 取り込まれた画像がドキュメントグループに表示されます。
 - ▶ データベースが開いていて、初期設定を変更していない場合は、[画像の挿入] ダイアログボックスが表示されます。
- 11) 開いているデータベースがない場合は、[ファイル]>[別名で保存...] コマンドで画像を保存します。画像は TIF 形式で保存するようにしてください。

6 ソフトウェアのディアクティベーション

使用中の PC が廃棄処分になるなどの理由で、ほかの PC で 同じ OLYMPUS Stream ソフトウェアのライセンスを使用する場合は、ソフトウェアのディアクティベーションが必要です。ソフトウェアのライセンスをディアクティベートする際も、必ず Olympus のセントラルアクティベーションサーバーで行います。本ソフトウェアのステータスが、このサーバー上で「ディアクティベート」となっていることが重要です。その場合のみ、このライセンスを他の PC で再びアクティブにすることができます。

PC の廃棄、ハードドライブの再フォーマット、またはほかの方法で使用できないようにする前に、ソフトウェアをディアクティベートしてください。ソフトウェアの再アクティベーションは、後からいつでも可能なので、新しく使用する PC がまだ利用できなくても問題ありません。

アクティベーションと同様、ディアクティベーションの実施方法はインターネット接続の有無と、使用する PC によって異なります。アクティベーションと同じ方法で行います。

- 1) インターネットベースでのディアクティベーション
 - ▶ ソフトウェアを実行する PC をインターネットに接続できる場合、ディアクティベーションは自動的にインターネット経由で行われます。もっとも早く、手軽な方法で、ほとんどの場合ではこの方法が使われます。
- 2) ファイルベースでのディアクティベーション
 - ▶ ソフトウェアを実行する PC をインターネットに接続できない場合、ディアクティベーションはインターネットに接続されたほかの PC を介して行われます。
 - ▶ ディアクティベーションの場合は、追加の手順があります。ディアクティベーションが完了したことが記された確認ファイルを、Olympus のセントラルアクティベーションサーバーにアップロードする必要があります。この追加ファイルをアップロードしてはじめて、本ソフトウェアのステータスがアクティベーションサーバー上で「ディアクティベート」となります。
- 3) コードベースでのディアクティベーション
 - ▶ スマートフォンなどの携帯機器の使用またはアクティベーションホットラインへ電話して、文字コードの転送と入力によりソフトウェアをアクティベートした場合、ディアクティベーションもコードベースで行う必要があります。

どの方法でディアクティベーションを行っても、クライアント PC とアクティベーションサーバー間で交換されるデータは基本的に同じです。データには個人情報は一切含まれません。

ソフトウェアディアクティベーションの際に交換されるデータ

最初のディアクティベーション方法では、要求ファイル (RAF ファイル) と プロセスファイル (PAF ファイル) が、インターネット経由で Olympus のセントラルサーバーと PC の間で自動的に交換されます。

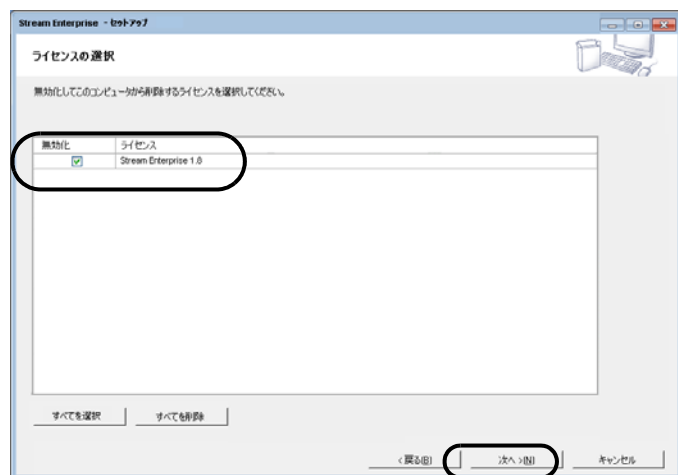
2 番目のディアクティベーション方法では、同じファイルが交換されます。しかしこの方法では、ファイルはアクティベーションサーバーへの手動アップロードおよびダウンロードにより交換されます。コードベースでのディアクティベーションを行う場合は、ディアクティベーションの最後に確認ファイル (CAF ファイル) を保存しアップロードする必要があります。

3 番目のコードベースでのディアクティベーションでは、アクティベーションホットラインへの電話などを利用し、文字コードが交換されます。

6-1 インターネットベースでのディアクティベーション



- 1) DVD-ROM ドライブに、アンインストールするソフトウェアの DVD-ROM をセットします。
- 2) 左側の [処理の選択] 画面が表示されたら、[このコンピュータのライセンスの無効化] オプションを選択します。
- 3) [次へ >] ボタンをクリックします。
- 4) [有効化サーバーへの接続] ダイアログボックスで [サーバーへの接続] ボタンをクリックします。



- ▶ PC は次にアクティベーションサーバーへ接続し、ディアクティベートするソフトウェアのライセンスの検索を試みます。この処理には数秒かかります。この処理は中断しないようにしてください。
- 5) [ライセンスの選択] ダイアログボックスが表示されます。ディアクティベートするライセンスを選択します。
 - 6) [次へ >] ボタンをクリックします。



- ▶ ディアクティベーションが完了すると、ソフトウェアのライセンスがディアクティベートされたというメッセージが表示されます。
- ▶ ファイルベースとコードベースでのディアクティベーションの方法は、基本的にアクティベーションと同様です。
- ▶ ファイルベースでのディアクティベーションの場合、ディアクティベーション完了後、確認ファイルをアクティベーションサーバーにアップロードする必要があります。下記アドレスを入力し、アクティベーションサーバーへアクセスしてください。
<http://www.olympus-sis.com/file-deactivation/>
- ▶ ディアクティベーション完了後、デスクトップに License Keys.lkf というファイルが作成されます。このファイルは次回ソフトウェアインストール時に使用できます。[ライセンスキーの入力]画面にて[参照(O) ...]から License Keys.lkf を読み込むと、ライセンスキーを読み込むことができます。

7 ソフトウェアのアンインストール

アンインストールされるもの

アンインストールされるのは Stream ソフトウェアだけです。Microsoft SQL Server 2005 Express データベース管理システムをインストールした場合、このインストールは PC に残ったままとなります。



Microsoft SQL Server 2005 Express データベース管理システムは、コントロールパネルからしか削除できません。削除すると、そのデータベースをもう開くことはできません。このため、まず初めに今後データベースを決して使用することはないこと、またすべてのデータベースのバックアップを作成していることを確認してください。Microsoft SQL Server 2005 Express データベース管理システムの削除は、上記の確認後に行います。

アンインストールの開始



OLYMPUS Stream をアンインストールするには、PC に管理者としてログオンしてください。

このセクションでは、アンインストールの手順を説明します。

- 1) Windows 7 を開始します。(コンピュータの管理者アカウントでログオンします。)
- 2) DVD ドライブにインストール用 DVD を挿入します。
- 3) [自動再生] ダイアログボックスが表示された場合、[setup.exe の実行] をクリックします。
- 4) [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合、[はい] をクリックします。
- 5) [複数のインストールを決定] ダイアログボックスが表示された場合、[イメージングソフトウェアの保持] オプションを選択します。[次へ >] ボタンをクリックして、処理を続行します。
 - ▶ [処理の選択] ダイアログボックスが表示されます。
- 6) [イメージングソフトウェアのアンインストール] オプションを選択します。[次へ >] ボタンをクリックして、処理を続行します。
 - ▶ [ライセンスの無効化 (随意)] ダイアログボックスが表示されます。
- 7) [ライセンスの無効化 (推奨)] オプションを選択します。[次へ >] ボタンをクリックして、処理を続行します。
 - ▶ 注: ライセンスのディアクティベーションを実行せずにソフトウェアをアンインストールすることも可能ですが、他の PC に OLYMPUS Stream をインストールしてもアクティベーションを行うことができませんのでご注意ください。
- 8) ディアクティベーションを実行します。
 - ▶ ディアクティベーションの詳細については、25 ページの "ソフトウェアのディアクティベーション" を参照してください。
 - ▶ アンインストールはディアクティベーションの完了後に実行します。
 - ▶ ディアクティベーションが完了すると、メッセージボックスが表示されます。
- 9) 確認して、[完了] ボタンをクリックします。
 - ▶ OLYMPUS Stream のインストール時に DP21 または DP26 カメラを選択した場合、デフォルトの IEEE1394 デバイスドライバがオリンパス固有の IEEE1394 デバイスドライバに置き換えられています。デフォルトの IEEE1394 デバイスドライバは、Stream のアンインス

トール後に自動的に有効にはなりません。[デバイスマネージャー]>[イメージング デバイス]ダイアログボックスでこのドライバを手動でリフレッシュする必要があります。

OLYMPUS®

オリンパス株式会社

支店・営業所所在地

東京 〒163-0914 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス ☎03(6901)4031
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦2-2-2 名古屋丸紅ビル ☎052(201)9577
大阪 〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-6-1 新大阪ブリックビル ☎06(6399)8005
広島 〒730-0013 広島市中区八丁堀16-11 日本生命広島第2ビル ☎082(228)1924
福岡 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通り3-6-11 福岡フコク生命ビル ☎092(711)1883



Olympus Customer Information Center

顕微鏡・工業用内視鏡
お客様相談センター

☎0120-58-0414 FAX 03(6901)4251

※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 平日8:45~17:30

取扱販売店名

住所	
店名	
担当者	